



## ダフニークエンチV

### ～コールドクエンチ油～

団体焼入れ条件でない場合には焼入油の冷却性能は、噴射あるいは著しい攪拌によりかなり増大させることができます。

一方また薄物部品とか、浸炭部品でむしろ芯部硬度を抑えたい場合など、冷却性能は低めに抑えたい処理物も多々あります。

このような処理に適用する焼入油の要求特性は、一定の冷却性能を長期間安定に保持し、且つ処理物の表面汚れが生じ難いことであり、その他は作業性にかかわる次の諸性能です。

発火燃焼し難い。油煙が出難い。水分混入トラブルに対処し易いスラッジが生成し難く、槽の保守管理が容易。洗浄廃液処理が容易洗浄なしで焼戻し炉に持込まれても、最も問題が少ないなどです。

上記の性能を長期間安定に保持させることを主眼に確立したのがダフニークエンチVです。

### 1. 用 途

- (1) 形状の簡単な処理物連調炉油槽用
  - ①重ね板ばね
  - ②巻きばね
  - ③棒材の調質用 4
- (2) 薄物調質部品の処理用
  - ①乗用車
  - ②自転車チェーンリンクプレート
  - ③薄板ばね
- (3) 乗用車用浸炭シャフトなど硬化能の良好な浸炭部品のコールド処理用など焼きの入り易い処理物に対する汎用焼入油として適用するほか
- (4) プレスクエンチ用
- (5) ソルト焼入れにも適用します。

### 2. 特 長

- (1) 酸化安定性が優れています。
- (2) 冷却性および光輝性が長期間安定しております。
- (3) 低粘度で高引火点ですから、消耗量が少ない製品です。
- (4) 比重が低く、油中に持込まれる塵埃・スケールなどの分離性が良好です。また水分および劣化生成物（油溶性にならない）の分離性が良好で、それが冷却性および光輝性を安定させることに役立っています。
- (5) オウ分が少ないのでご使用中の光輝性変化が少なく、トレーや治具の寿命に悪影響を及ぼしません。また連調炉油槽で油分が付着したまま焼戻し炉に入る場合も、油煙の量や燃焼ガスにそれだけ問題が少ない製品です。
- (6) ソルト焼入れにもご使用いただけます。
- (7) 危険物第4類第3石油類に該当します。

### 3. ご使用上の注意

- (1) 常用油温は90℃以下で、それ以上は良好な性能が損われる恐れがあります。
- (2) 水分混入には充分ご注意ください。200ppm以上の混入により光輝性の低下や硬度むらを生じ、常時水分の影響ある油槽では寿命が低下します。

### ダフニークエンチVの性状・冷却曲線試験例

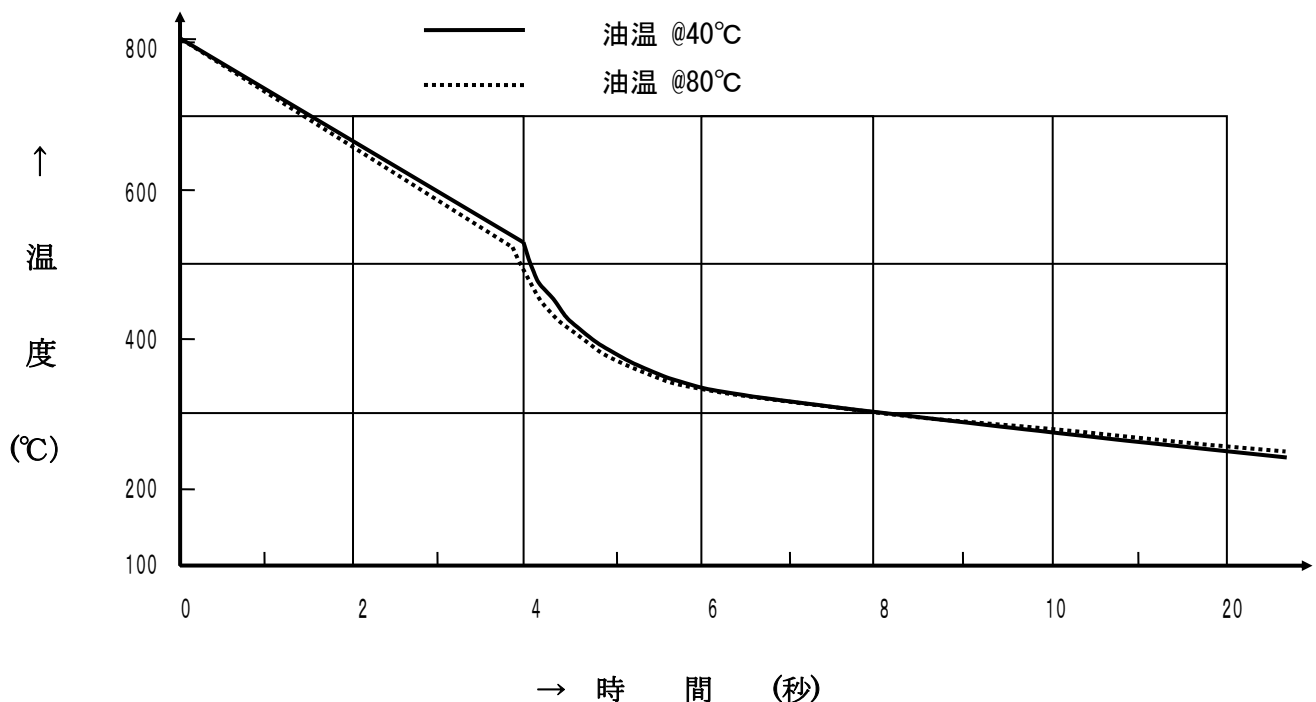
項 目			分 析 値
密 度	@ 15℃	g/cm <sup>3</sup>	0.8577
色 相	(ASTM)		L 0.5
引 火 点	(COC) °C		210
動 粘 度	@ 40℃	mm <sup>2</sup> /s	20.54
	@ 100℃	mm <sup>2</sup> /s	4.208
粘度指数			108
酸 価	mgKOH/g		0.01
残留炭素	wt%		0.01
イオウ分	wt%		0.15
焼入強烈度(H値)	@80℃	cm <sup>-1</sup>	0.113

## 焼入油冷却曲線例

試験法 : JIS K 2242

試験条件 :

焼入温度 800°C



- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(SDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ (<https://www.idss.co.jp/business/lube/>) からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL:03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <https://www.idss.co.jp/business/lube/> から「お問い合わせ事例のご紹介」まで